

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20210329092535.html>



令和3年4月1日からの施行です！
(特定化学物質障害予防規則・作業環境測定基準等の改正)

令和3年4月1日から施行されます。
塩基性酸化マンガンおよび溶接ヒュームに係る労働者の健康障害防止対策を強化することを目的に令和2年4月22日に公布されております。
金属アーク溶接作業を伴う事業場はご留意ください。
また今後、溶接ヒュームやマンガン等の特殊健康診断が実施されている熊本県内の健康診断機関を取りまとめる予定です。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20210203135959.html>



労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

「医療従事者の安全」について

抗がん剤は、がん細胞に対して効果を発現する一方で、正常な細胞にもその作用機序から少なからず影響をもたらすものが多くあります。抗がん剤の調製時などに発生する曝露によって、医療従事者が健康被害を受けるリスク（職業性曝露）については、日本国内外ともに多数の報告がなされています。近年、我が国でも抗がん剤の取扱いに関する各種ガイドラインが策定され、各医療機関において手順書が策定及び運用されているところですが、その妥当性の評価等についてはエビデンスがなく、十分になされているとは言えません。

そこで、医療従事者の職業性曝露ゼロを目指し、国内の多施設における抗がん剤調製の手順について、その工程ごとに飛散の発生する原因・メカニズムを究明するとともに、職業性曝露を発生させない手順を検討し、標準手順書として広く情報発信していくことを目的として、平成30年7月から本研究を開始しました。

中間報告として、令和元年度には全国労災病院等31施設の抗がん剤調製業務における職業性曝露対策の実態調査を実施しました。また、抗がん剤飛散量の定量的評価について、抗がん剤調製時の手技・手順の飛散量の比較を継続しています。

本研究の詳細については、「労災疾病等医学研究普及サイト」をご覧ください。
→<https://www.research.johas.go.jp/anzen2018/index.html>

「石綿関連疾患診断技術研修（石綿小体計測講習会）」について

当機構では、呼吸器系の疾患を取り扱う医師等に対して、医学的な判断が困難な石綿関連疾患の診断技術の向上及び労災補償制度の周知を図るため、石綿関連疾患の診断方法、石綿ばく露の所見に関する読影方法、労災補償制度の取扱い等についての研修を実施しております。

その中で、石綿小体計測に関わる人材の育成を主な目的として、石綿小体計測講習会を年2回実施してきました。

石綿による肺がんか否かの労災認定基準の一つとして、肺内の石綿小体の本数がありますが、この石綿小体を計測できる施設や人材は限られているのが現状です。

本講習会では、検体の作成方法から石綿小体の測定方法まで、実際に顕微鏡を用いながら学ぶことができます。

少人数体制のため、新規参加者の方でも安心して学べる内容となっています。

なお、令和2年度の本講習会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を見送りました。令和3年度の開催予定については、決まり次第、本ホーム

ページにて改めてお知らせいたします。

これまでの研修の詳細等につきましては、下記リンクをご覧ください（本研修は認定産業医の単位取得対象です。）。

→ <https://www.research.johas.go.jp/asbestokenshu/>



いろいろなお知らせ

◆ 当センター及び機構本部からのお知らせ

1. 動画教材「会議を行うにあたって新型コロナウイルス感染症の感染防止のためのポイント」を公開

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20210210091346.html>

2. 地域産業保健センターのご案内（全て無料です）

<https://www.kumamotos.johas.go.jp/areamed.shtml>

- ・阿蘇地域産業保健センター
Tel 0967-34-1177 Fax 0967-34-1619
- ・有明地域産業保健センター
Tel 0968-72-3050 Fax 0968-82-8844
- ・天草地域産業保健センター
Tel 0969-25-1236 Fax 0969-24-4126
- ・菊池鹿本地域産業保健センター
Tel 0968-23-1210 Fax 0968-23-1211
- ・熊本地域産業保健センター
Tel 096-366-6788 Fax 096-366-6788
- ・人吉球磨地域産業保健センター
Tel 0966-22-3059 Fax 0966-22-3059
- ・八代水俣地域産業保健センター
Tel 0965-39-9531 Fax 0965-39-9532

3. 新型コロナウイルス感染症に関する情報

※情報は随時更新されております。最新の情報をご確認ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/useful.shtml>

※新型コロナウイルス感染症対策にリンク集を掲載しました
【労働者健康安全機構】

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20201126132727.html>



主な行政の動き

【厚生労働省】

1. 令和3年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します

～今年は、WBGT値の実測と異常時の速やかな対応に着目～

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20210302150526.html>

2. 令和3年度「全国安全週間」を7月に実施

〈令和3年度の「全国安全週間」スローガン〉
持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20210319165011.html>

3. テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン

厚生労働省では、このほど、「情報通信技術を利用した事業場外勤務の適切な導入及び実施のためのガイドライン」（平成30年2月）を「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン」に改定を行い、公表しました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20210325172449.html>

◇ コラム「健康診断」

先日、十数年ぶりに人間ドックを受けました。
血圧や体重、血糖値、コレステロール値、腹囲など基準値を上回りながらも、何とか「心配なし」の判定を受けてクリアしたと安堵していたところ、眼底検査の欄を見てビックリ！
「乳頭陥凹拡大網膜変化」などと書かれ、「要精密検査」となっていました。
乳頭陥凹拡大網膜変化っていったい何だろう？と思い、インターネットで調べてみると緑内障の疑いがあるというもの。
眼科を受診して精密検査を行ってもらったところ、
「現在のところ視野の欠損は認められないが、眼圧が少し高めなため、眼圧を下げる目薬を処方しますので、毎日1回、必ず付けるようにして下さい。」と言われました。
気休めかもしれませんが、
「視野欠損が出る前に早期発見できてよかったですね。」とも言われました。
目薬とは一生付き合っていく必要があるとのことですが、早期に発見できたことを幸運に思うしかない、自分に言い聞かせている次第です。
「健康診断」や「人間ドック」というと、何か怖い病気が見つかるのではないかと思ひ、受診するのを躊躇したり、先延ばししたくなるものですが、やはり定期的に行うことが重要であると強く感じた次第です。
コロナが原因で、健康診断がなかなか受けられない状況でもありますが、1年に1回は健康診断を必ず受診するようにしましょう。
アレッ！もしかして、健診結果って私の個人情報だったかも(;^_^A

◇ 編集後記

熊本城のお堀端には桜が咲いて見事な景色となりました。
当センターでも入口入ってすぐのところに、カラー、ガーベラ、カーチスなど綺麗な花が花瓶に生けられており、ちょっとした瞬間で目に優しい癒しとなっております。
ちょっとした言動で相手を傷つけたり、憤慨させることもあれば、ほんの些細な言動で相手が喜ぶこともあり、私自身も秀麗な花のように癒しでありたいと肝に銘じる今日この頃です。

=====
編集内容等に関するご意見・お問合せなどをお寄せください。
またメールアドレスの変更の場合は件名に[メルマガアドレス変更希望]、
配信停止希望の場合は、[メルマガ配信停止希望]等ご記入の上
ksanpo43@kumamotos.johas.go.jpへお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター
〒860-0806 熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル3階
TEL:096-353-5480 FAX:096-359-6506

<https://www.kumamotos.johas.go.jp/>
E-Mail:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp
